

第44回建築士事務所全国大会（熊本大会）

連載 楽しき町歩き 京の町並み 第12回（最終回）「変わる町並みの未来」



撮影者 洛西支部 田中 義人

皆さん、明けましておめでとう御座います。今年うさぎ年「癸(みずのと)卯(う)年」、卯年は十二支の中で4番目に数えられ、癸は十支の最後の要素で陰陽五行説は水の陰ともいわれます。卯年生まれの方は、愛嬌があり男女共に老若男女から好かれやすい性質です。又多くの人にどこかほっこりとした温かさ感じ、自然と人が集まりやすく周囲は常に幸せで温かなムードが漂う傾向があり、「卯年」自体が何か明るいものを引き寄せやすいのか、これまでを振り返ってみると景気が回復しやすい傾向もあり、バブル景気な始まりやアジア経済が回復傾向にあったのも「卯年」です。以上のように景気上昇の傾向がある卯年ですので、どんな年になるか楽しみですね。



CONTENTS

- 【新年のあいさつ】 03・04・05・06
- 【コラム】 「新・ふだんあまり意識しないこと…新年だからこそ…」
～暮らしのなかでふと思う～ 名和 啓雅 … 07
- 【レポート】 日東製陶所工場・モザイクタイルミュージアム
バスツアーのご報告 内田 康博 …… 09
- 【連載】 「楽しき町歩き 京の町並み」第13回(最終回)
変わる町並みの未来 辻 伸子 …… 10
- 【レポート】 竜吟庵方丈の柿の葺替え及び耐震補強
修理現場の見学 金森 清正 …… 12
- 2022 青年話劇会 熊本大会について …… 14
- 第44回建築士事務所全国大会(熊本大会)・
熊本城復興状況視察に参加 金森 清正 … 15
- 【行事報告】 耐震フェア2022 in イオンモール KYOTO
亀田 佳明 …… 17
- 令和4年度建築士事務所キャンペーン報告
橋本 勇樹 …… 17
- 【行事報告】 令和4年度忘年会 金森 保則 …… 18
- 【お知らせ】 八木裕有相談役国土交通大臣功労者表彰
受賞祝賀会(八光館) 高橋 宏 …… 19
- 【行事報告】 令和4年度YOU・遊・ウォーキング
和歌山県一泊旅行令和 金森 保則 …… 20
- 【お知らせ】 ドローンに関わる法律
「航空法その①：飛行禁止空域」 …… 22
- 【支部だより】 南丹支部 中西 義照 …… 24
- 丹後支部 岡田 昌基 …… 24
- 北部支部 近江 邦光 …… 25
- 洛北支部 齋藤 義憲 …… 25
- 【賛助会員だより】 株式会社テイシンホールディングス …… 26
- 有限会社荻野製瓦工業 …… 27
- 【お知らせ】 建築基準法改正に関して
面田 高明 …… 28
- 【健康だより】 アルコールとの上手な付き合い方 …… 29
- 【コラム】 2023 野間 洋平 …… 30
- 【連載企画】 四コマまんが・えだまめ …… 31
- 【あとがき】 スケッチ・編集後記 …… 32

会員数 (12月1日現在)

支部	洛北	洛中	洛東	洛南	洛西	桃山	城南	山城	乙訓	南丹	北部	丹後	合計
事務所数	51	66	31	43	42	38	20	14	25	17	20	4	371

新年のご挨拶

一般社団法人京都府建築士事務所協会
会長 上野 浩也



あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は当協会に対しまして格別のご指導とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年もコロナに左右された1年でした。今日でもワクチン接種の効果や流行性の関連が多方面で議論されておりますが、今後は感染防止対策を講じてウィズコロナの新しい生活様式を模索していかなければならないと思います。

コロナウィルスの世界的な蔓延の結果、我々の業界にも大きな影響が生じていることは、皆様もご存じの通りです。まだまだ、建築資材の供給が順調とは言えず、建築資材の高騰と人件費の高騰で厳しい状況が続いていますが、工夫をして乗り越えていかなければならないと思います。

さて、協会の活動についてですが、コロナ禍ではありますが、多くの会員の皆様が各委員会に積極的に活動していただいております。各委員会では、会議もWebでの会議だけではなくリアルに集まる会議も活発化し、Webとリアルを併用したハイブリッド会議もようやく定着してきております。Web会議は時間と経費の節約となりあたかも万能であるような発言をされている人がおられますが、古い考え方もかもしれませんが、私はやっぱりリアルな会議の進行も進めやすいと思います。講習会もハイブリッドで開催されており、一定の参加者があることは有難いことです。リアルとWebを個々で上手に活用していただき、協会の活動への積極的な参加をお願いします。

また、近年の総会で財務や事業について厳しいご意見をいただいております。特に財政においては固定費を少しは削減できたものの厳しい状況が続いています。ご意見をしっかりと受け止め、会員の皆様とともに協会の

運営に努力してまいりますので、ご理解とご協力の程よろしく申し上げます。

現在、日事連の副会長として出向させていただいておりますので、少し活動状況をご報告させていただきます。日事連では、日事政研の会長、法制度対応特別委員会委員長、事務所登録の電子化に伴うWGの主宰、青年部連絡会議の担当副会長を拝命しています。特に事務所登録の電子化に伴うWGでは、令和6年4月1日からスタートする事務所登録の電子申請に対する問題点を検討し、国土交通省建築指導課とも協議を進め、現在の事務所登録の手数料が適正な金額であるかを検証しています。

今年も府民の皆様到我々の職能を活かした活動を通じて安全・安心なまちづくりのお手伝いをさせていただき、「法定団体」の会員としてふさわしい技術と知識を常に研鑽し、資質の向上のために努力を怠らないように努めてまいります所存でございます。

結びに、会員の皆様の今後益々のご繁栄を心より祈念し、新春のご挨拶とさせていただきます。



「あたたかい京都づくり」へ邁進^{まい}

京都府知事 西脇 隆俊



あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナとの闘いも3年になろうとしています。長きにわたり感染防止対策に取り組んでいただいている皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。

昨年は新型コロナの拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や世界的な物価高、さらに記録的な円安などに見舞われ、今も社会生活への甚大な影響が続いています。こうした情勢の中でも安心して豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱くことができるよう、「あたたかい京都づくり」を進めていくことを決意し、総合計画を1年前倒して改定しました。同計画に基づく施策を令和5年度当初予算に盛り込みます。

「時が物事を変えると人は言うが、実際は自分で変えねばならない～ They always say that time changes things, but you actually have to change them yourself ～」。これは米国の芸術家アンディ・ウォーホルの言葉です。今年3月、いよいよ文化庁が京都で業務を開始し、明治維新以来初の中央省庁移転が実現することとなりました。彼が言うように、この歴史的な出来事が私たちに何をもたらすかではなく、私たちがこの機会をどう活かしていくかが問われます。「文化の都・京都」の実現に向け、国と地方が連携して日本各地の文化に光を当て、世界へ発信し、ここ京都から新たな文化の潮流を起こしたいと考えています。

この他、「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、子育て環境日本一の取り組みを進化させてまいります。また、京都の強みである大学の「知」と学生の「力」を積極的に地域や企業に取り入れ、京都の活力を生み出してまいります。そして新名神高速道路開通や、大阪・関西万博開催などの好機を活かし、京都の発展に取り組んでまいります。

今年卯年です。その愛らしい姿と温厚な性質で「家内安全」を、跳躍する姿で「飛躍」を象徴するウサギの年にふさわしく、皆さまと共に「あたたかい京都づくり」へ邁進してまいる所存です。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



「行財政改革」と 「文化を基軸とした成長戦略」で 京都を未来へ

京都市長 門川 大作



あけましておめでとうございます。

この一年の皆様の御多幸をお祈りいたします。

さて昨年は、コロナ禍から市民の皆様への命と健康、暮らしを守り抜く。持続可能な行財政の確立に向けて改革に邁進し、危機克服へ前進を見た一年でした。皆様の御理解と御支援に心から感謝申し上げます。

また、「地域の絆、伝統文化の灯を絶やさない」。多くの方々の御尽力で、感染防止策を徹底しつつ、地域活動が再び盛り上がりを見せた年でもありました。時代祭、祇園祭をはじめ、各地での行事等に感激しました。

そして本年、いよいよ文化庁が京都へ。また、京都芸大・美術工芸高の崇仁地域への移転や、東九条、梅小路、菊浜をはじめ、全市で文化を基軸とした取組が飛躍します。文化芸術が経済価値を生み出し、経済が文化を支える。京都ならではの文化と経済の好循環を創り出し、暮らしの豊かさに繋げてまいります。

さらに、京都の景観の骨格を守りつつ、まちの発展を目指した都市計画の見直し、企業誘致や子育て支援等の取組で、住む場所・働く場を創出して若い世代にも選ばれるまちへ。同時に、脱炭素・環境保全の取組、ウクライナ・キーウ市への支援等を通じて、世界平和やSDGsの達成にも貢献していく決意です。

一方、本市の厳しい財政状況。多くの方からその原因を聞かれます。大きな要因の一つが、国の「三

位一体改革」。17年の間に、成長戦略等で本市の税収は330億円増加も、国からの地方交付税は612億円減少し、差し引き、年間282億円の減に。この間、職員3,800人削減等の改革も断行。財政が厳しくとも、全国トップ水準の福祉、教育、子育て支援、安心安全等の施策を維持向上させてきましたが、その中で、将来の借金返済のために積み立てている公債償還基金の計画外の取り崩しを余儀なくされました。そこにコロナ禍です。

こうした実情を改めて全てご説明し、一昨年8月に「行財政改革計画」を策定しました。3年間を集中改革期間とし、皆様の御理解の下、全庁挙げて徹底的に改革を進めた結果、この2年間で計画を大きく上回る収支改善(447億円)を達成。公債償還基金の枯渇は回避し、また、本市が返済の責任を負う市債残高は、市長就任以降、全会計で3,800億円、19%削減。皆様の御協力に深謝。

依然難局は続きますが、「若い世代に負担の先送りはない」との覚悟を胸に、皆様への丁寧な説明に留意しながら、全力投球します。この間の御理解と御支援に心から感謝し、一層の御指導をお願い申し上げます。

総務財務委員長 奥村 健太



新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお祈りします。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も一昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響が少なくなってきているもののまだまだ影響を受けた年となりました。

しかしながら、Withコロナと言いましようか、建築士事務所協会全国大会（熊本大会）、青年話創会、忘年会と様々なイベントも開催できました。

本年は、コロナに負けず徐々に委員会活動も盛んになってくるものと願っております。まだまだ予算は厳しい状況ではありますが、是非とも限られた予算の中で大いに活

動していただきたいと思っております。

委員会としても少しでも各委員会に予算を残せるように頑張っております。

また、若手不足といわれている業界ですが、少しでも若手の担い手を増やせるように全国各ブロックで青年部会を立上げ、全国規模で動いております。近畿ブロックでも、近畿ブロック協議会青年部会を立上げるべく現在青年部を中心に動いております。

業界を盛り上げたい一心で活動しておりますので、先輩・大先輩の方々には暖かく応援していただけたらと思います。

結びに、会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

青年部・女性部合同委員会 委員長 長西 朋宏



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましてもつつがなく新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また旧年中は青年部・女性部事業の活動に御協力いただきありがとうございます。

コロナ禍の中での活動はほぼ皆無となっておりますが、昨年より準備しております（仮称）近畿ブロック協議会青年部会の設立にむけ各単位会の委員長とともに準備を進めている次第です。2月18日の設立会に向けて大阪会・兵庫会・和歌山会・滋賀会・奈良会・京都会全ての単位会の青年部が一丸となって取り組ませていただきました。

昨年は延期されていましたが、熊本全国大会が開催され、前日に青年話創会も開催されました。どうすれば若手が事

務所協会へ入会しやすくなるか?どうすれば今後の事務所協会が魅力あるものになっていくのか?多くの若手が参加して未来の事務所協会の在り方などを議論させていただきました。このような会に参加させていただけることが素晴らしいことだと思っております。

コロナ禍で人と人との関わる場所が限定されてしまい、そして制約されました。現在制約された世の中でコミュニケーションをとることは容易ではないと思っておりますがやはり人と人が対面で会話することも大切だと思っております。

縁を大切に人と人のつながりが切れてしまわないように、青年部・女性部合同委員会をもっと魅力のあるものにしていきたいと考えております。

結びに会員の皆様のご健勝とご多幸、ご活躍を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

「新・ふだんあまり意識しないこと…新年だからこそ…」 ～暮らしのなかでふと思う～

洛中支部 名和 啓雅

際限のない時の流れに区切りをつけて、気持ちを新たに
にする人の知恵に感心する新年です。令和5年（西暦
2023年）、新しい年がはじまりました。今年は十二支の
卯年です。

卯という漢字は甲骨文字では左右対称形で、一對とし
て使うものを示していることから、門柱と門扉を開いた形と
し、春二月に天門が開いて万物が茂ることを表すとありま
す。「説文解字」によると天地の運行、四季の循環によ
る万物生成の順序から、子丑寅と伸びてきた植物が卯に
至って、蔽いかぶさるように繁茂することを意味していま
す。一方、茂った根がからんでどうにもならないということ
もあると言い、いずれにしても卯年は陽気が衝動し、じめ
じめした陰気を吹き飛ばし繁栄しますが、悪くすると紛糾し
動きが取れなくなるので戒心しながら解決してゆくことが求
められるようです。考えてみれば、当たり前のことを実行す
ることがいかに難しいかを毎年痛感し、一年の始まりに
は、今年こそと殊勝なことを心がけます。相変わらず、笑っ
てしまうほどしか続かないのですが…。

正月の過ごし方で以前より多くなっていると思うのがお
せち料理の広告です。様々な理由で家庭で作ることが少
なくなっていますが、それでも縁起ものとしての性格が強
いところから「数の子・田作り・黒豆」を三種肴といい、
欠かせないものとされています。

数の子は子孫繁栄を願うことによるというのは解るので
すが、若い頃、ごまめをなぜ田作りというのか長い間不思議
に思っていました。イワシを畑の肥料に使うようになった
ことから「田作り」と呼ばれ豊作祈願をこめてと、恥ずかし
ながら後になって知りました。

黒豆は言葉通り、マメに（勤勉に）働き、丈夫で元気に
（マメに）暮らせるようにですね。

新年を祝い、神様へのお供え物を分かち合っていただ
くため、両口が使える八寸の箸を使うのも、単に便利だか

ら、ではなかったのですねえ。

数の子の親のニシンが食べ物としてだけではなく、木綿
（コットン）が生活の中にひろくいきわたることに影響したと
いうのも、また不思議と言えます。江戸期に日本の温暖
な地方で栽培が進んだのには、蝦夷地（北海道）でとれ
るニシンの、油を搾ったあとの肥料として干鰯（ホシカ）が
北前船でもたらされたことが大きかったのです。それまで
上位の人しか身に着けられなかった綿衣料が、一般人も
保温性と耐用性をもった衣料を身につけることができるよ
うになったのは、ニシンやイワシのおかげだといえます。

余談ついでに、ヨーロッパではニシンの酢漬けを結構
食べます。（私は苦手です）。7世紀頃にはキリスト教での
断食では40日間はパンと塩と水しか食せないということが
が、やがて古代ギリシャでの体液理論が一般化し、魚は
食べてよいということになったようです。

北ヨーロッパでの魚と言えば、ニシンとタラで、バイキン
グが食料と交易品として北大西洋やイングランドを拠点と
していた痕跡が残っており、ニシンを食べる食文化が今も
あります。イワシとニシンは食料としてだけではなく、肥料と
して木綿の栽培にも影響し、廻りまわって、世界的なアパ
レル製品の原材料になど、いまは世界中の生活に関連
が及んでいます。近年、コットンに限らず生産に関して人
権や労務問題などが無視できないようになり、経済発展
と生産原価の安さのみを追い求めていると、手痛いしっ
ぺ返しを食らいます。

今日、一旦どこかで異変があればたちまち物資が滞り、
調達ができないほど海外に依存してしまうのは、やはり考
え直さなければならぬと思います。世界に目を向けられ
ば、戦争でエネルギー供給の止まった寒い国では、暖房
が無くては凍え死んでしまうでしょう。

振り返って、あまりにも海外に依存し、便利で安かった
石油やガスをいつまでも好き放題に使えるはずが無く、干
ばつなど深刻な問題が増えています。少し前には見向き

もされなかったようなことがあらためて見直され、新しい技術や研究が、いつの時代も未来を切り開いていくのだと思います。

今年はどうなるでしょう。希望を持って、いい年であってほしい「新年の夢」です。

綿布はやがて船の帆になり、遠い地方で採れたニシンが、綿になり、今日も衣服やタオルになって私たちは生活をしているという不思議。

まどろっこしいことを書きましたが、この二～三年は新型コロナウイルス (Covid-19) で、思うような行動ができないことが多かっただけに、今まで以上に様々なことをやってみようとする人も多いただろうと思います。ふと考えると私達の生活やふだんの過ごし方も少しずつ変化し、気づかないうちに大きく変わっていることがしばしばあります。

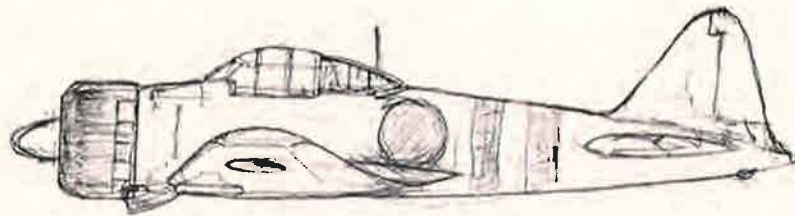
余談ですが、最古の証拠としてはメキシコで8000年前の遺跡に綿花がみられます。これはその後もアメリカで栽培されるスーパーマ綿、インドのスピン綿、かつてはエジプト

のギザ綿が世界三大綿でしたが、エジプトは観光とスエズ運河の通航料に収入をシフトして、今では世界の総生産量2574万トンのうち中国(新疆ウイグル綿)が世界1位の生産量です。その中国の生産量604万トンのうち20%が新疆ウイグル綿です。2位インド535万トン、3位がアメリカで、綿花栽培はとてつもない巨大産業です。

新疆の綿は超長繊維で、滑らかで光沢がある良質の綿で、日本が技術指導した点滴灌漑で生産が上り生産効率はアメリカの2倍です。余談が過ぎましたが日本へはインドの綿(スピン綿)が伝わったようです。

帆船で世界の物資が動きだし、時代は下って規模が大きくなって、廻りまわっている世界中の生活に関連が及んでいます。

でも未来に希望を持って、いい年であってほしい正月の夢です。



三菱 A6M 21型
H. Nawa



日東製陶所工場・モザイクタイルミュージアム バスツアーのご報告

会員委員会 内田 康博

この度、会員委員会の懸案であった、賛助会員さんの工場見学会を久々に実施することができました。今回は賛助会員の日東製陶所様の本社工場の見学と、近くにあるモザイクタイルミュージアムの日帰りバスツアーです。

令和4年10月22日(土)朝8時に京都駅八条口からバスで出発。参加者20名全員で予定通り出発しました。途中ドライブインで休憩し、最初の目的地である岐阜県多治見市の日東製陶所本社工場に10時半に到着しました。

この工場では本社機能の他、タイルを焼くだけでなく、釉薬の製造もしており、また研究所機能も含む総合的な施設となっています。まずは広い食堂にてビデオで会社の沿革から事業内容、最新の製品についての説明をいただきました。その後2グループに分かれ、釉薬の材料、調合、製造過程を見学し、続いて、タイルの素材を整形し、釉薬をかけ、焼成する過程までじっくりご案内いただきました。釉薬の調合をする作業場では、注文に合わせて材料を精密な計量器で計量して調合し、様々な色合いとなる釉薬をつくる様子を拝見しました。細かな注文に手作業で対応されていることに改めて感心しました。また、タイルは粘土をこねるように作っているものと思っておりましたが、素材となる粉末をタイルの型に入れて圧縮することでタイルの形に成型する方法をとっていることを知りました。他にも規模の大きな工場があるとのことですが、注文を受け、釉薬を調合し、タイルを焼き、出荷するところまで、すべてを一か所で見学できるところが特徴的です。

見学を終え、バスで10分程移動し、日東製陶所のスワ

ンタイルカフェにて昼食をいただきました。カフェと同時にタイルギャラリーも兼ね、床、壁の他、テーブル、テーブルプレート、箸置きその他各所にタイルが使われています。隣にはタイルを使った工作ができる工房も附属しています。

食事を終え、2つ目の目的地である多治見市モザイクタイルミュージアムに向かいます。藤森照信氏の設計による不思議な形の建物で、タイルはもちろん、建物も見どころの一つです。前面広場からおにぎり型の建物に向かってすり鉢状に下がった一番下に入口があります。正面は全面、自然な風合いの土塗で、タイルの原料となる粘土を掘り出す山の断面のように見えます。入口を入るとまずは4階まで洞窟のような先細りとなる階段を上がり、屋上に出ます。屋上といっても屋根があり、空に向かって一部大きなまらい穴が開いているだけで、屋内のように感じます。床、壁、天井ともモザイクタイル張り、昔懐かしいモザイクタイルの絵画や、タイル張りの便器や手洗いなどが復元されています。3階はタイルの歴史、2階は現代のタイル製品の展示があり、1階はミュージアムショップでお買い物です。体験工房も併設されていますが、今回は見学のみです。

ゆっくり見学すれば本日の目的は達成。タイルの歴史から懐かしいタイル、現代の最新のタイルまで、とても勉強になる一日となりました。日東製陶所様、準備から当日の受け入れ、ご案内など、ありがとうございました。

今後も、賛助会員さんの工場見学など、企画してゆく予定でおります。その際は、よろしくご参加いただきたく、よろしく願い申し上げます。



● 変わる町並みの未来 ●

洛中支部 辻 伸子

新年おめでとうございます。

昨年秋、連載バ切を目前にしてネタを探さねば・・・と本棚や引出しをガサゴソしたところ、昭和末年（1989）に撮影した西陣境界の写真が出て来ました。当時の、京都の町をウロウロ散歩した学生時代を思い出します。

時代はバブル経済崩壊直前の、地価高騰期。市内では、年々京町家が「ペンシルビル」などに建替えられました。新しい建物がデザインを競い合い、若者の眼には「破壊」を感じながらも、町並みの躍動的な変化が新鮮に映っていたように思います。また、土地利用の合理化を目指す「総合開発制度」による規制緩和を受けて、京都でも高さ規制論争が盛んに行われていたと記憶します。

京町家が連なる西陣の町並みも、機業の将来を含めて、大きく影響を受けた時代だったと思います。

33年後の現在と比較したいなあ・・・と思いつき、定点観測してみました。

主に2地域で、ひとつめは「大宮今出川下る」境界（以下、「大」とする）【写真：大1～10】。大宮今出川付近は、かつて「千両ケ辻」と呼ばれた生糸・織物を商った西陣の中心地です。ふたつめは上立売通に面する「西陣小学校」境界（以下、「西」とする）【写真：西1～8】。上立売通沿いと、通りから南へ入った、細い道が縦横する町並みを撮影しています。

見比べて、2地域に共通する現象は「①京町家の減少【大3,10 西1,3,5,6,7,8】、②家並みの先に高層ビルが突

出た光景の増加【大6 西2,3,4】、③空中を走る電線の束が太くなっている【大3,4 西2,4,7,8】」などです。

①に付随して、「④隣家の妻側形状が露わになった【大10 西5】、⑤露地の軒先が連続する佇まいが途切れた【西7】、⑥駐車場が増加した【西3,5】」などが生じています。

また①は生じているものの、「⑦修景された【大8】、⑧色合いが落ち着いた【大1,9】」という景観的配慮は増加したように感じます。

「⑨カラフルな看板が減った」ように見えるのは、看板規制の影響が目立たなくなったことも要因ですが、商店自体が減少しています。

西陣境界は永らく職住一致の町であり、京町家も職住一致の形態を持つ建物でした。「平面的集合住宅」のようなもので、「通り」で隣とつながっていました。産業の空洞化とともに、徐々に職住一致の営みは減り、「職」または「住」の単一機能が求められる建物が増えました。「通り」に開かれた形態の京町家と、「通り」に閉じた形態の住居や建物が混在して並んでいるのが、現在の西陣境界の町並みです。

1989年当時出版された『京に似合うかのっぽビル』（1988年7月17日発行 かもがわ出版）の目次を見ると、「景観・高さをめぐる市民の意見は?」「都心から住民が消える!?!」「遠のくマイホームの夢」などと、現在の京都市が抱える課題と共通しており、また市民の関心の持ちようが読み取れます。「ヒロポンに似た”活性化”論」という、少々過激な論調もあります。

大宮通境界

1989年



2022年



それから約20年後の2007年7月から『新景観政策』がスタートしました。既に時を逸した感がありましたが、45m高度地区は無くなり、市内では31m超の高層ビルは建てられなくなり、虫食い状態に残った京町家を模倣するような、屋根勾配や色彩など建物の形態制限が盛り込まれることになりました。

施行から15年を経た現在、今回の定点観測で感じたのは、高層建物が建つと当分は無くならず景観的影響は長く残る、そして一度消えた町並みを取返すことは難しいな・・・ということです。

こどもの頃、円町よりも西の丸太町通に掛かる歩道橋から「大文字の送り火」を見ていた!などということは、私が生きている間には二度と経験しないでしょう。

人口減少と超高齢化が、これからの数十年で町並みを変えていくでしょう。

ちなみに人口は1989年(12月時点 1,466,491)、2022

年(11月時点 1,448,955)です。世帯数は1989年(12月 549,426)、2022年(11月 740,034)で、人口微減にもかかわらず世帯数増加が顕著です。また、京都市の将来推計人口は、2030年1,423,318、2040年1,343,401となっています。

20年後には、現在より10万人以上減る予測です。1965年(昭和40年)頃の人口とほぼ同じですが、年齢構成が全く違います。

現在、市内周辺部での規制緩和が検討されていますが、将来更に加速する人口減少で中心部から住民が消えるのではないかと、町並みはどうなるのか・・・また定点観測したいものです。

2019年春号からこの連載を始めましたが、新たな町歩き・ネタ探しに出発したく、いったん終了とさせて頂きます。永らくお付き合い賜り誠に有難うございました。

大宮通界隈



西陣小学校界隈



竜吟庵方丈の柿の葺替え及び耐震補強 修理現場の見学

城南支部 金森 清正

「竜吟庵方丈の見学」

2022年10月14日午後 集合時間より少し早く着いたの
で、東福寺北門から退耕庵・豊源院を経て臥雲橋を渡り
日下門より境内に入りました。まだ紅葉には少し早く極一
部の葉が色づきはじめてたところでした。



栗棘庵門前のモミジ



臥雲橋から通天橋を望む

「竜吟庵の概要」

竜吟庵は、東福寺の三世住持、大明国師こと無関
普門よって開かれ、国師が病に伏してから死去するまでの
間、住まいとして利用されていました。

その住居跡に建つ竜吟庵方丈は、現存する最古の方丈
として極めて貴重な建築であり、国宝に指定されています。
禅宗寺院では高僧が死去すると、弟子たちがその墓所の
ほとりに庵を構え、亡き師を祀りました。それが塔頭の起こ
りであり、塔頭は次第に僧侶の隠居所としての性格を帯
び、禅宗寺院における寺内寺院の意味合いとなっていま
す。

一般的に塔頭は、師僧を祀る為の祠堂と、住持の住居
兼客殿である方丈、それと台所兼一般僧の住居である庫
裏から成り、竜吟庵もまたその通りの構成で、玄関左手に
方丈・右手に庫裏・方丈の裏手には大明国師を祀る開
山堂が建っています。開山堂の内部には鎌倉時代の大明
国師坐像（重要文化財）が安置されているが、それは大明
国師が幼少期に患った、天然痘の後遺症である「あばた

や斜視」がリアルに表現された極めて写実的な像らしいで
す。（竜吟庵は通常非公開の寺院です。）

「方丈の概要」

方丈は、1387年に建てられ、桁行8軒 梁間6軒の六
間取りの平面を持ち、縁側を四周に設け特に南側は広縁
とし、東側に玄関を設けてあります。

現存最古の方丈で、応仁の乱前は、基準柱間は1間＝
7尺前後が普通で、その後は6尺5寸前後になると言われ
ていますがこの建物は基準柱間が1間＝6尺8寸柱芯々
寸法で計画され、応仁の乱以前の工法の貴重な遺構であ
る。近世の方丈形式に達する以前の古い形式を伝えてい
ます。



方丈 南面外観（京都府文化財保護課資料より）



この方丈の特異な点は、中央「室中」の奥に仏間がなく
室の境が板壁になっていることで室中が儀式空間である
のに反して中央北室は私人的生活空間として利用されたよう
です。南広縁側には、4種の建具が建てられていて、中央
に「棧唐戸」、その両側に「葎戸」が2面、両端部は「舞
良戸」、そして各面の室内側に「明障子」が建てられていま
した。

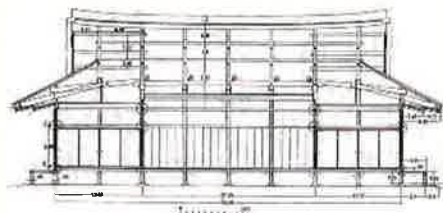
「棧唐戸」は仏堂の扉に、「舞良戸」と「明障子」は「書
院造り」の住宅建築に使用される引戸で、鎌倉時代から
普及した建具です。平安時代の建具よりも軽量化され、開

け開めが楽になりました。

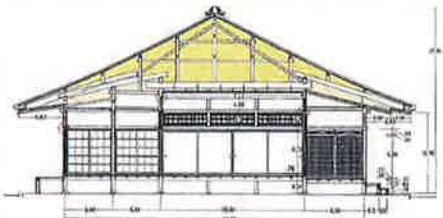
「蔀」は、主に「寢殿造り」に使用されていた平安時代の建具で、上半分は外側に吊り上げて金具で止めて、下半分は「はめ殺し」にするか、取り外して開口部全体を開放します。「蔀」は重い建具ですから、これを上下に動かす開け閉めには相当の手間と労力が必要で、方丈では、既に普及している便利な建具の中に、古い時代の重くて不便な「蔀」が混用広縁に面し蔀戸を用い側面に扉を開く等寢殿造りにも通じる構成が見られ貴重な建物です。

建具内側の「明障子」は引き違い戸ですが、1本溝に仕込まれていました(建具に工夫がありました)。また室中の両脇の鴨居は未だ溝匏がなくコ形の枠の中央に畔を取付2本溝としていました。蠟色漆仕上げとしてありました。(当日文化財保護課の担当者のお話)

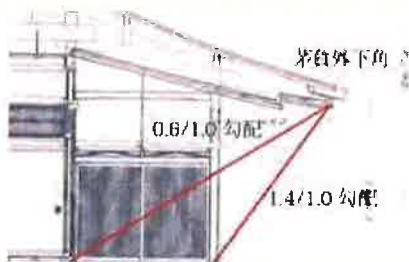
前回の改修工事は、1962年に解体修理が行われ建設当初の姿に復元されました。



桁行断面



梁間断面



広縁と軒の出

上図の軒裏、表3方は2重檼、小屋断面左側の裏側部分は、1重檼となって格を変えています。

軒茅負よりの赤線で0.6/10が冬至日正午・1.4/10が春分秋分の正午の太陽角度で、軒の出の検討に利用されたか?軒出は、6.62尺で、広縁の8.50尺と併せて、少し広い建物です。

このように勾配を有する基準墨を「禪墨」といい、我国

の歴史的建造物の寸法決定手法のひとつです。

高さを示す陸墨と、ある基準から引き出された勾配線との交点によって、空間上の一点を定める傾斜した基準墨のことをいいます。

「屋根柿葺き」

今回の改修は、屋根の修復で見学時は、役物部分を除きほぼ葺き終わり棟近くで施工中でした。

柿葺きは木羽(こば)葺きともいい、厚さ2mmくらいの薄板のもので、4~7mmのものを木賊葺き、9~30mmの厚いものを栩葺きといえます。

柿葺き屋根の材料には、サワラ・ヒノキなど、木の目がよく通っていて割裂性があり、なおかつ耐水性に富んだ種の木・木の部分(赤身)が用いられ柾目使用されます。文化財の多くは木曾の国有林から伐採利用されています。また板の固定には、竹釘が用いられ、現場の職人さんによる施工の様子もを見せていただき、口の中で竹釘の向きを移動させ、金槌の先がサイコロ状の「屋根金槌」を用いて打ち込み、最後に竹釘頭を潰し打ちして1本完了。竹釘は現在丹波の石塚商店1社で日本全国の需要を賄っておられます。

屋根葺きは軒付積7段の上、軒先から葺き上げ、効き幅一寸程度の幅で10枚ほどの重なりがある。柿板の腐朽を抑制し耐用年数をより長くする目的で、屋根を葺く際には薄い銅板を葺き込む、その効果については議論が分かれるようだが、銅に防腐効果のあることは様々な防腐薬剤に銅が利用されていることからすでに自明のこととおもいます。



屋根金槌



参加者集合写真

2022 青年話創会 熊本大会について

桃山支部 (株) 田端隆建築設計 関西支社 田端 進也

新型コロナウイルスの流行により中止となっていた青年話創会が、第44回建築士事務所全国大会(熊本大会)に合わせて3年ぶりに開催されることとなりました。しかし、まだ新型コロナウイルスの感染状況が終息した状況ではないため、各単位会からの出席人数に制限もかけられた状況ではありましたが、全国からオブザーバーも含め142名、京都からは長西委員長と中井副委員長とともに参加させていただきました。青年話創会の開始前には、以前から交流のある兵庫会や愛媛会の青年部の方々と久々の再会を懐かしみました。

青年話創会においては、児玉日事連会長の挨拶、福島会から前回大会の報告があったあと、全国の青年部会の設立状況についての報告がありました。現在、全国47の単位会のうち34の単位会で青年部会が設置されており、設置準備を進めている単位会も4箇所あるとのことでした。コロナ禍においても着実に活動が全国に広がっているのだと感じました。

その後は各ブロック会の設立状況や活動報告が行われ、テーブル討議に入っていました。今年のテーブル討議のテーマは「ブロック青年部会の設立とその役割」、「会員増強と次世代育成」という内容でした。各ブロック別に10人程に分けられたテーブルでテーマに対する意見を出し合い発表を行いました。近畿ブロックの2つあるテーブルの

1つは私が発表者として立たせていただいたのですが、緊張のあまり声が上ずってしまい、伝えなければいけないことの半分くらいしか伝えられず大変申し訳ないことをしてしまいました。今後、人前でしゃべるのは控えさせていただこうと思います。

青年話創会終了後は、こちらも3年ぶりとなる懇親会が会場を変えて行われました。各ブロック別に8人ずつ円卓に座るのですが、コロナ禍の対応ということで隣同士がアクリル板で間仕切られて会話がしにくい状況でした。しかし、久々に再会する方や新たに知り合った方と有意義な時間を過ごすことができました。

来年の全国大会は鳥取・島根の共同開催となります。両県ともに会員数が少なく、青年部会も無いことから、现阶段で青年話創会の開催は未定とのことでした。このことから、今後は単位会だけではなく、ブロック単位での協力のもと青年部会を盛り上げていかなければいけないのではないかと感じました。

近畿においても、2月に「近畿ブロック協議会青年部」が設立される予定ですので、大阪会、兵庫会、滋賀会、和歌山会、奈良会(設立予定)とともに協力していけたらと思います。

また来年、機会がありましたら参加させていただきたいと思います。



第44回建築士事務所全国大会（熊本大会）・ 熊本城復興状況視察に参加

城南支部 金森 清正

今年も9月30日 建築士事務所全国大会（熊本大会）に参加させていただきました。未だコロナ禍の中ではありますが、万全の対策の中、3年ぶりに開催されました。熊本地震から6年が経ち復興が進む中での大会でした。大会のテーマは「大自然の脅威に耐えて今 そして未来へ」

で、熊本城ホールで行われました。大会会場へ午後2時半過ぎに入り「パネルディスカッション」の途中から午後6時前まで大会式典に参加、設計業界のデジタル化の実施実現に向けての課題について、考えることの多い大会でした。



大会翌日のエキスカーション「熊本城復興状況視察」に参加させて頂いた折のレポートです。視察参加者が多く4班2組に時間分けし実施され、京都会は第4班で午前10時15分集合でした。朝少し時間があつたので、令和元年より熊本城特別公開がスタートされている一般ルートにて先に見学しました。（「熊本城復興状況視察」とは別ルートです。視察は工事現場内）

熊本城は、昭和35年（1960）に鉄骨鉄筋コンクリート造で大小天守が再建されましたが、66年を経た平成28年（2016）の熊本地震で罹災しました。文化財指定を受けていない天守閣は、震災復興のシンボルとして最優先で復旧作業がすすめることが出来（文科省の管轄外）平成29年（2017）に着手、令和3年（2021）に竣工しました。

新たな天守閣は耐震補強やバリアフリー化が図られました。城域内は、被害状況や復旧工事の様子も安全に見学できるよう見学空中歩廊が整備されました。

熊本城は、慶長12年（1607）加藤清正が当時の最先端技術と労力を投じて完成させ、以後、400年に亘る日本の様々な歴史の重要な舞台となってきました。旧城域は約98万km²、周囲約5.3kmの敷地に、大小の天守を始め、櫓49、



一般ルートの見学空中歩廊（黄土色が歩廊・左端が入口）



大天守・小天守



見学空中歩廊（視察ルートより）



二様の石垣



耐震補強（クロスダンパー）



番付けされているも崩れたままの石垣石

櫓門18、城門29がありました。明治10年(1877)西南戦争直前の火災により天守・本丸御殿などを焼失しましたが、宇土櫓や東竹之丸の櫓群など築城当時の建物が残り13棟が国の重要文化財に指定されています。城域は昭和30年(1955)特別史跡に指定されています。

熊本城は、地震により、石垣の破損64ヶ所、全体の30%近くにも及び、重文の建造物13棟全ての破損(東・北十八間櫓は全壊)など甚大な被害を受けました。

復旧には、石垣の整備が最重要で真っ先に石垣の破損部分についての調査が、国土地理院などが地上型レーザーでの計測また地上型レーザーでは設置場所が確保できない部分では写真計測を併せて実施され、3次元モデルを構築する技法で今後の復旧に役立てるべく資料を作成されたそうです。



地震直後の飯田丸櫓の石垣と修復中の同石垣

見学時に復旧が完了していた文化財は、「長堀」のみで、長さ概242mあり、直線で残る文化財の堀としては日本で最も長いとされています。地震では、そのうち80mの部分が倒壊したほか、20mに渡って傾くなどの被害を受けました。いったん全て解体し修復されました。工事では文化財としての価値を損なわないよう、およそ7割で元の部材が



罹災した長堀

修復の完了した長堀

使われ、堀と石の柱をステンレス製の補強材にて見え隠れ部分で繋ぎ、補強しているということでした。

石垣部分など基礎部に損傷のなかった場所の櫓などは、2022年度より順次着工されるそうです。



城内あちこちにある小規模な石垣の崩落の存置



罹災した十四間櫓

崩れた壁にシートを張り一時養生



空中歩廊より

視察ルートより

数寄屋丸の石垣 建物にも亀裂が見える

まとめ

熊本城全体の復旧は、まだ2割程度しか終わっていないです。復旧がすべて完了するのは2037年度末だ15年以上先の話です。

前記した様に天守閣は早く復旧できましたが、櫓などの重文の建造物は、解体して取り出した瓦や柱などを可能な限り使って元通りにしなければなりません。

さらに難題なのは石垣。全体の約3割にあたる約23000㎡の石垣が被災し、8200㎡で崩落しています。再び大きな地震が来ても石垣が崩れないように、原因を究明し、対策を施し復旧する必要があります。

土台となる石垣が整備されないと上に乗る櫓の復旧もままなりません。石垣・重文の建造物の文化財的価値を損ねない手法による修復と早期の復旧を期待しています。

追記、見学用の空中歩廊も20年間、あくまで「仮設建造物」ということで文科省の許可が下りたようです。

耐震フェア2022 in イオンモール KYOTO

木造耐震委員会 亀田 佳明

10月1日土曜日10時～18時までイオンモールKYOTOフードコートまえ広場において京都府、京都市による耐震フェアが開催され本会から北村、増田、久田、亀田が参加パネル展示、耐震相談、木造住宅軸組模型、振動実験教材(ぶるるくん)を用意しました。

子供さんがぶるるくんで楽しく耐震について興味を持ち勉強になったと喜んでくれました。

フードコート前なのでお腹を空かせた方が通行されるので食後の方にアピールしました。

耐震相談は午前中1人、午後1人が来られ図面も持参されたので耐震するポイントをお伝えしました。

耐震フェアを通して府民・市民にアピールすることが出来ました。



令和4年度建築士事務所キャンペーン報告

京都府立植物園キャンペーン活動、無料建築相談会

キャンペーン委員長 橋本 勇樹

開催日：令和4年11月03日(木祝)

会場：京都府立植物園・府民交流フェスタ

キャンペーン委員会では毎年、様々なイベントを通じて、京都府建築士事務所協会のPR活動を行っています。

今年は3年ぶりに京都府立植物園内で府民交流フェスタが行われたため、子供向けのおうちバコというお道具箱作りをメインに、無料建築相談とキャンペーン活動を行うことができました。

当日は10時頃から受付を開始し、時間が進むとともにおうちバコ作成の予約者が増加した為、席を増設するほどの人気ぶり、予定のおうちバコ100セットが14時頃にはなくなってしまう程でした。

また、親御さんをはじめ、来場者の方には、協会の認知に繋がる災害時や建築に関する知っておいでいただきたいもの、建築士の役割を纏めたパンフレットをウエットティッシュと共に添えて、約200部配布することができました。

また、今後の当協会の活動で参考になるよう昨年の綾部市に続き、簡単なアンケートに答えてもらった方には、協会名入りの防災グッズ or 防災ランタンを計100個プレゼントし、とてもご好評いただきました。

今回の開催にあたり、ご協力いただきましたたくさんの皆様、本当にありがとうございました。

今年はまだ他にもキャンペーン活動を行いたいと思っておりますので、その際は是非ともご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



令和4年度忘年会（令和4年12月2日）

福利厚生委員会 委員長 金森 保則

令和4年度の忘年会は、12月2日（金）ホテルグランヴィア京都に於いて、総勢82名の会員・賛助会員等のみなさんにご列席いただき開催されました。今年度は初めての試みで、近畿ブロックの各会の役員にもご案内を差し上げたところ、大阪会からは、樋上会長他3名、滋賀会からは、大村会長他1名、兵庫会・奈良会・和歌山会からもご参加いただきました。去年に引き続き、ホテルグランヴィア京都では感染症の対策をホテルをあげて取り組みをされていて、ソーシャルディスタンスの確保・テーブルセットの充実・会場内の換気設備・演台の飛沫防止対策などなど、安心して利用できる環境にありました。今年はテーブルのパーティションを3年振りに取り外し、お話も進んだかと思われず。

定刻となり、開会の挨拶をさせて頂きました。去年の76名を凌ぐ82名の宴席となりました。その後、上野会長より開会のご挨拶をして頂きました。いつものことながら、会長のみなさんを引き付ける軽快なお挨拶には感服してしまいます。その後は、高橋 宏名誉会長の乾杯のご発声により開宴となりました。

食事も昨年と同様に「新様式仕様」で、取り分けたものを運んでいただくことになりました。食事を楽しんでいただきながら、歓談を楽しんでいただけたのではないのでしょうか。パーティションがある時よりも小さな声で歓談できたように思います。

大阪会の樋上会長・滋賀会の大村会長にもご挨拶いただきました。その後、サプライズで廣瀬副会長の「還暦祝い」として、ステージ上で赤いちゃんちゃんこ帽子をつけてもらいました。廣瀬副会長には、閉会までそのままの姿で過ごしてもら

いました。続いて、賛助会員さんによるゲームでは、毎年のことながら、賛助会員さんにご協賛の商品をご用意いただきまして誠にありがとうございます。各賛助会員さんによるPRタイムの後、名刺引き当てゲームを行いました。大変実用的な商品や最新の商品など様々な商品がありました。本当にありがとうございました。

会員によるゲームの時間となりました。会長賞・委員長賞は名刺を引き当てた方に幸運がめぐり、今年は支部長によるゲームは、じゃんけんゲームを行いました。11テーブル中、全てのテーブルに賞品が当たりました。

楽しい時間は早いもので、あっという間に中締めとなりました。八木相談役にご挨拶して頂きました。八木相談役は今年『国土交通大臣表彰』を受けられました。おめでたい年に中締めをしていただきました。ありがとうございました。

最後になりましたが、企画運営にワンチームとなりご協力いただきました福利厚生委員会のみなさん・司会者の野浪 ゆき様・事務局のみなさん、本当にありがとうございました。

終わりに、参加いただいた皆さんのおかげで無事終わることができました。私の私見ですが、リモートにはリモートの良いところはたくさんあります。しかしながら、リアルに出会えることに勝るものはないのではないのでしょうか。

来年の忘年会は『新型コロナウイルス感染症』も収まり、リアルに元気な声を掛け合えるようになることを切に願うばかりです。

来年もより良い京都府建築士事務所協会になりますように…



八木裕有相談役国土交通大臣功労者表彰 受賞祝賀会（八光館）

一般社団法人京都府建築士事務所協会 名誉会長 高橋 宏

去る、11月19日（土）正午から京丹波の地の八光館において、ご来賓、会員、賛助会、ご家族を含めて61名で祝賀会が開催されました。上野会長、木村副会長、金森（保則）理事、私の4名で発起人をさせて頂きました。当の本人はもとより私達も何度か開催もしていますが何度しても緊張致します。八木ご夫妻と私達発起人で、ご来賓の皆様、会員・賛助会の皆様をお迎えし盛大に祝賀会を開催することが出来大変うれしく思っております。

八木さんとは、協会、TIC委員会で知り合って20数年近くで、公私とも久しくお付き合いさせて頂いております。ゴルフ、委員会、協会事業、全国大会、海外研修とご一緒しました。懇親会では、色々とお世話になりました。例えば、私が泥酔い状態になった時もホテルまで送ってもらったことや、また帰りの電車では、綾部駅過ぎたころに電話を掛けて起こしてもらったこともあり、1回だけ寝過ごして宮津

駅まで行ったことがあり家までの帰りが大変なこともありました。海外研修でもハプニングがありましたが、そのことについては、本人との思い出の玉手箱にしまっておきます。（笑）

本当に面倒見のいい方で、私的には父兄のように思っています。

一昨年の上野会長に続いて当協会から5人目が受賞されましたのは当協会としても業界内外に当協会の活動を認めていただいたことは、大変名誉なことと喜んでおります。

来期も続けて国土交通大臣功労者表彰を受賞する方が居られますように期待して居りますと共に、多くの会員の皆様を引き続き知事表彰、日事連功労者表彰、国土交通大臣表彰、黄綬褒章、叙勲等を受けられることを願うばかりです。そしてまた、皆様と共に受賞の喜びを分かち合いたく思っております。



令和4年度YOU・遊・ウォーキング 和歌山県一泊旅行

福利厚生委員長 金森 保則

今年度の『YOU・遊・ウォーキング』は、前回の高知県の旅があまり歩くところが無く、YOU・遊・ウォーキングの名前に反しているのでは無いかという反省から、メインである友ヶ島散策・和歌山城見学・紀三井寺参拝などウォーキングを意識してのコースとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響も4年目を迎えた中で、令和4年11月11日(金)～11月12日(土)で総勢20名で京都を出発しました。国の方も新型コロナウイルス感染症との共存を目指して、全国旅行支援を発表し、その制度を利用して割安感が味わえました。しかしながら、今年度も新型コロナウイルス感染症の対策として、バスは定員の55%・換気に留意・座席は指定席にするなど行い、街歩き中にあたっては、マスクの着用・手指の消毒・咳エチケットを各自に注意をお願いしての出発となりました。

今年度ご参加の皆様を簡単にご紹介させていただきます。私が旅行の企画をさせていただいてから、毎年ご夫婦でご参加いただいています城南支部の金森清正さんご夫婦、洛北支部の村木さんご夫婦、外部理事の西田さん、上野会長、高橋名誉会長、中村相談役、廣瀬副会長、

監事の高木さん、松村さん。福利厚生委員会からは、木村副会長、八木相談役、森脇さん、日高さん、一志さん。賛助会員からは、(株)丸二の西村さん、三浦照明(株)の三浦さん。事務局増井さん、金森で総勢20名でのYOU・遊・ウォーキングとなりました。

朝8:30に京都駅八条口バスターミナルを出発。一路和歌山を目指してのバス旅です。

高橋名誉会長に出発のご挨拶をいただきました。その後、すぐに和気あいあいとした雰囲気となり、恒例のゲーム大会となりました。

あっという間に最初の訪問地である『長久邸庭園』に着きました。長久邸庭園は、「日本庭園がある酒蔵」として、敷地内には約3000坪の日本庭園があります。日本庭園・酒蔵をご案内いただき、試飲等楽しんだ後、みなさん梅酒などをお土産に買われていました。一日目の昼食は「黒潮市場」です。「特上まぐろづくし御膳」をいただきました。

上野会長のご挨拶の後、乾杯の音頭で始まりました。大変美味しいまぐろのお刺身が多数ありました。中でも「中とり」は絶品でした。食後、海をバックに記念撮影を行いま



した。

昼食後、「紀伊風土記の丘」へ伺いました。ここは、「岩橋（いわせ）千塚古墳群」の保全と公開を目的として、開館したそうです。園内は約67haの広さがあり、大小およそ500基の古墳が点在していました。短時間で、かいつまんでの見学になりましたが、大変興味深い経験が出来たように思います。その後、早い目にホテルに到着して、みなさんに自由な時間を持っていただく計画としました。和歌山城へ行かれた方や、部屋でゆっくり休まれた方など様々だったようです。

本日の夕食は、近いようでなかなか来ることがない和歌山県まで来ましたので、『クエ鍋』をメインに、「海鮮屋台 虎丸水産」でいただきました。数多くの料理が出てきて、みなさんお腹いっぱいになられたかと思います。私自身、クエ鍋は初めてでしたが大変美味しく頂きました。驚くことに、このお店に和歌山会の副会長がいらっしゃいました。上野会長と楽しくお話をされていました。

二日目(11/12)は、今回の目的地とも言える「友ヶ島」へ向かいました。バスでホテル出発後、加太港から約20分の船旅です。到着後、ガイドさんの案内の下に約2時間の散策でした。友ヶ島は第二次世界大戦が終わるまでは旧日本軍の軍用地で、一般人の立ち入ることができませんでした。島内には大戦中の施設が多く残され6ヵ所の砲台跡の他さまざまな施設が残されています。アニメのモデルに

なった施設で有名だそうです。みなさん予備知識がないままでガイドさんについていきましたが、本当の山登りかと思うくらい少しキツイ行程でした。しかし一人も置いて行かれず、無事下山しました。

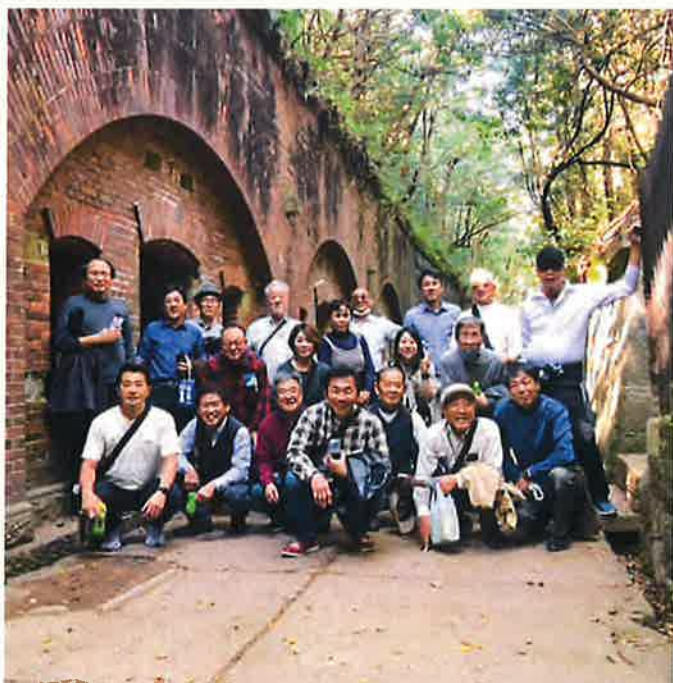
昼食は、加太港付近の「活魚料理いなさ」で海鮮丼をいただきました。このお店の食事も新鮮な魚料理で旅行の締めくくりとも言える美味しいものでした。二日間魚三昧でした。

最後にYOU・遊・ウオーキングの締めとして、『紀三井寺』を参拝しました。紀三井寺は231段の階段がそびえ、一瞬立ちすくんでしまいました。しかしながら、みなさん友ヶ島の疲れも見せず無心で登られていたように思います。

総括としまして、コロナウイルス感染症の影響も三年目を迎えまだまだ色々なことがあるかと思いますが、今年もみなさんのご協力の下に開催できたことは、うれしく思います。また、会員のみなさんに楽しんでいただける企画します。

最後になりましたが、上野会長はじめ、ご参加いただきましてありがとうございました。また、福利厚生委員会のみなさまもゴミの収集含め、ご協力ありがとうございました。

今回もやはり、みなさんの笑顔が私の一歩のご馳走でした。



ドローンに関わる法律 「航空法その①：飛行禁止空域」

「Fujitakaドローンパイロットスクール」です!

京都府南丹市にてドローンの操作を基礎から応用まで幅広く学べるドローンスクールを開講しております。

尚、当スクールでは国土交通省の定める、10時間以上の飛行経験・飛行許可・承認申請の基準のクリアを保証し、ドローンを安全に使用するための知識と技術を身につけることができます!

航空法における飛行禁止区域

前回の記事ではマルチコプターやドローンの定義や詳細をお伝えさせていただきました。今回はドローンに関わる法律「航空法」における飛行禁止区域（飛行させてはならない場所）の説明を致します。

【飛行禁止区域その①】

空港等の周辺及び上空の空域

有人機である飛行機や旅客機、ヘリコプターなどが飛行する区域となることから衝突の危険を回避するために、(無人航空機及び模型航空機)飛行させてはなりません。

【飛行禁止区域その②】

150m以上の高さの空域

こちらの区域も有人機である飛行機や旅客機、ヘリコプター等が飛行する高さの空域となることからその①と同様の理由で(無人航空機及び模型航空機)飛行させてはなりません。

【飛行禁止区域その③】

人口集中地区 (DID)

人口密度が1平方キロメートルあたり4000人以上の地区を「人口集中地区 (DID)」と定義します。多数の人が生活している上空での飛行は墜落時、衝突の恐れがある為、(無人航空機)飛行させてはなりません。

【飛行禁止区域その④】

緊急用務空域

こちらは土砂災害や山火事といった自然災害が発生した場合に、捜索活動や消火活動といった目的でヘリコプターなどが飛行しているエリアを指します。このことから活動の妨げとなる恐れがある為、(無人航空機及び模型航空機)飛行させてはなりません。



飛行禁止空域の調べ方

航空法における飛行禁止区域は上記の通りとなります。続いては該当区域の調べ方をお伝えさせていただきます!

① 150m以上の高さの空域

ドローンにはGPSを取得可能な機種であればコントローラーに付属しているモニターやアプリなどで自機の飛行高度がリアルタイムで把握可能となっております。

② 緊急用務空域

国土交通省のHPから「政策情報・分野別一覧」より航空→無人航空機のページに遷移していただくと下記のように常時アナウンスしております。

現在の緊急用務空域の指定状況について

DISARMED 緊急用務空域は指定なし 現在、緊急用務空域は指定されていません。

※緊急用務空域の指定の有無について、ドローン・ラジコン機等を飛行させる前に必ず事前確認を行ってください。

大雨に伴う災害等の発生している地域では、捜索、救難活動等の緊急用務を行う有人機（ヘリコプターなど）が飛行する可能性がありますので、まずは有人機の災害活動の妨げにならないよう、当該地域でのドローン・ラジコン機等の飛行は控えてください。

ドローン・ラジコン等から緊急用務を行う有人機の安全を確保するために、緊急用務空域が指定された際には、ドローン・ラジコン等の飛行は禁止されますので、ご注意ください。

なお、当該地域周辺でドローン・ラジコン機等を飛行させる方は、周囲の気象・地象を常によく確認し、補助者を付けて助言を受けるなど、ご自身の身の安全を確保することについてもご注意ください。

出典：国土交通省HP

③ 人口集中地区及び空港周辺

国土地理院のHPから「国土地理院地図」を参照して頂きます。開いて頂いたページ左の欄より「人口集中地区」や「空港周辺」を押下していただくと右記の図のように一目で分かります。

いかがでしたでしょうか?

航空法に定められているドローンを飛行させてはならない区域での飛行は罰則もございます。事前に飛行可能な区域を把握しておくことが非常に重要です!

今回はドローンに関わる法律航空法その②「飛行禁止の方法」を具体的に説明させていただきます!



出典：国土地理院HP



Fujitakaドローンパイロットスクール

短期間・低価格で受講可能!
飛行許可・承認申請に必要な最低限の知識・技身を習得



0120-873-816



fdps@fujitaka.com



https://www.fujitaka.com/fdps/



南丹支部

支部長 中西 義照

木造住宅の耐震について思う事

南丹支部の支部会は2回ほどしか開けていませんが、活動について意見や想いをメールで聴いた中で地域に根差した活動が必要との意見もありました。

街中を移動していると耐震基準を満足していないであろうと思われる建築がたくさん目につきます。

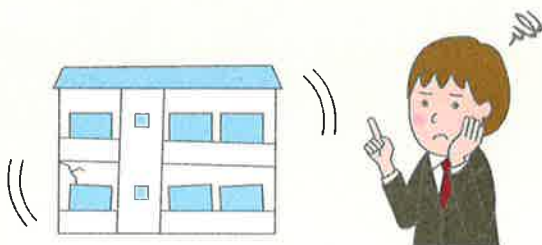
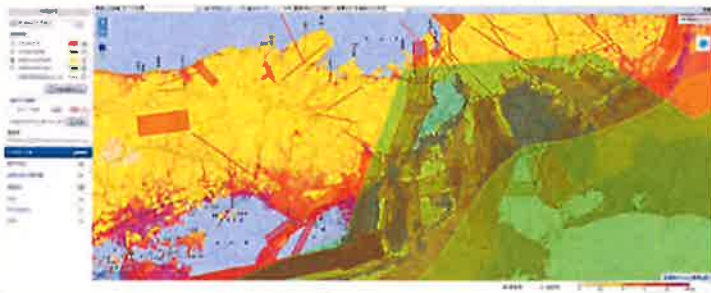
見た目に危険そうな建物、二次災害が起こりそうな場所に建っている建物などを見ると備えをしているのだろうかと心配してしまいます。

今後予想されている、極めて稀に発生する地震（際稀地震）の影響を考えるとなんだか落ち着かなくなってきます。

依頼者や相談者には耐震性能（その他の性能も）や建てる場所についての大切さを伝えているのですがまだまだ耐震への備えという観点からは具体的にどうなるかという事をイメージできていないと実感しています。

HPやブログなどでの発信はしてきたつもりですが、リアルに先ずは身の回りから、地域から地震や耐震について知ってもらう必要性を感じています。

今後取り組みを考えていきたいと思います。



丹後支部

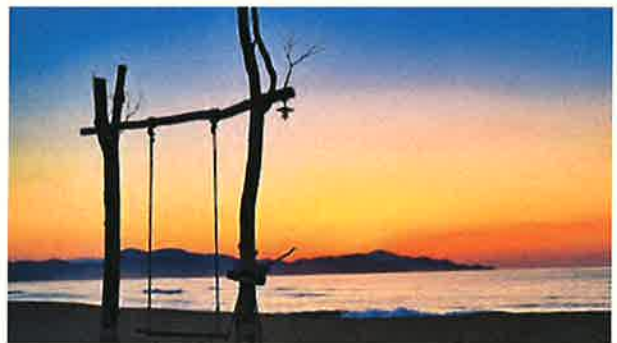
支部長 岡田 昌基

京都丹後鉄道の脇に樹齢約50年のイチヨウの木があり、鉄道マニアの中ではちょっとした撮影スポットになっています。イチヨウが色づくこの時期、期間限定のライトアップが行われます。列車に乗りながらライトアップされた幻想的な紅葉をお楽しみ頂けます。



京丹後市網野町の「夕日ヶ浦」は、その名の通り夕日の名所で、丹後を代表する美しい夕景は旅人の心を癒してくれます。

別名「常世の浜」ともいいます。太陽が夕日に変わる少し前、海面に映る黄金色の照り返しはまるで美しい鏡のようです。浜辺に沿ってのびる散策路「夕日の路」にはベンチが並び、ゆっくりと夕日を楽しむことができます。



北部支部

支部長 近江 邦光

高津八幡宮

自宅から自家用車で、5分程度で行ける近くの古〜い建物を、紹介したいと思います。

JR山陰本線 高津駅から南へ10分程歩いた小高い森の中に「高津八幡宮」が鎮座しています。創建は、881年(元慶5)、男山(京都府八幡市)から当地へ金鳩が飛来してきたことを奇瑞とし、朝廷の命により石清水八幡宮の別館として勧請されたと伝えられています。1500年(明応9)火災により、社殿・社宝・古記録などが消失し、勧進状により翌1501年(文亀元)に再建されました。以降、歴代領主である大槻氏、九鬼氏(綾部藩主)有馬氏(福知山藩主)からも崇敬され、社領や鳥居の寄進、社殿の造営などの庇護を受けました。明治初年迄は、宮寺形式で社僧が神社を管理してましたが、明治3年に神仏分離政策により寺院は廃止され神職が置かれるようになりました。

現在の宮司さんは、六代目で近辺でも珍しい女性宮司さんです。ちなみに、私の設計監理に携わった物件の地鎮祭や、上棟祭にも来て頂いたことがありました。四季おりおりの景観を楽しめます。今は秋、紅葉で色づいてきました。

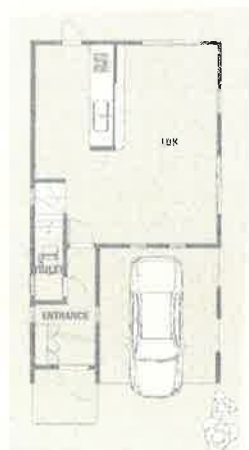
近くにお越しの際は、是非一度足を運んでみて下さい。



洛北支部

支部長 齋藤 義憲

昨春、義父の熊谷 勝が往生しました。生前中のご厚誼に御礼申し上げます。亡父が設計した住宅が家内の実家で、そこが私の事務所と住まいです。左京区岩倉は、田畑が残り、冬期に雪深い日があります。私は、下京区で生まれ、山科や一乗寺で暮らし、育ちました。同じ京都市内でも、様々な風情を体感してきましたが、加茂川に架かる橋からの広がる低い山々に囲まれた風景は、京都を実感します。義父は、「事務所協会の支部会は、楽しい。」と申し、そそくさと出掛けていました。去年は、二カ月に1回、支部会を開催できました。勉強会や何らかの支部活動をとも思ったのですが、会員の皆さまと集うことだけでも、コロナ禍においては、意義あったのかなと感じました。またもや第8波の入口か?といったニュースのタイミングですので、本年も見通せません。まずは、支部会の皆さまと美味しく温かい鍋でも囲み、あれこれと談笑できる時を共有できれば、有り難いと思う次第です。不景気だ、先行き不安だと何十年もネガティブな風潮ですが、楽しく過ごすことは、私たち自身の知恵次第だと思います。明るく楽しく、美味しい?支部会活動のお手伝いに努める所存です。よろしく願い致します。



株式会社テイシンホールディングス

当社は、関西を中心に、主に建設現場での美装工事を行っています。ビルクリーニング技能士、清掃作業監督者、有機溶剤作業、特定化学物質等作業主任者など様々な資格を持ち、特殊な汚れを機械や薬品等を使用してきれいにする専門職です。

『豊かな人格 優れた技術 確かな信用』を社是に掲げ、取引先、家族、同僚、会社に安心と満足を提供するという経営理念の下、日々業務に取り組んでいます。

経歴

1970年ビル総合管理、美装工事、洗い工事、養生工事、その他清掃に関する業務を開始。1972年に設立以降、研究所を設立して洗浄剤の開発、一般家庭向けの洗剤の開発販売やハウスクリーニングやエアコンクリーニングを、また2020年には超高压洗浄機を導入するなど、さらなる業務の充実を図ってきました。

2022年には設立50周年を迎え、なお一層の技術向上を目指してまいります。

2020年導入の超高压洗浄機は、タイルの下地目荒らしに最適です。

超 高 圧 洗 浄

最大吐出圧
200 MPa

一般的な高压洗浄機の20~30倍の超高压水で

タイル剥落防止策として下地目荒らし、
石綿・塗装等除去

ハイローターガン

180~200MPaの
超高压水を噴射し、洗浄、
はくり作業を行います



アクア・セルロータII

150~200MPaの超高压水を
噴射し、平面を効率よく洗浄、
はくり作業を行います



(株)テイシンHD

電話 075-602-0291
mail@teisin.co.jp

設立50年

〒612-8448 京都市伏見区竹田東小屋ノ内町86番地

OGINO SEIGA

～丹波で創業して100年余り～

瓦と共に歩み続けて、今日の私たちがいます。

美しいだけでなく、耐久性・耐火性・耐震性など優れた機能を持ち合わせる日本の「瓦」。
大切な家屋を、暮らしを守る屋根には、日本の気候に合って進化を続ける瓦を使ってほしい。
これまで30,000件の屋根工事を手掛けてきた荻野製瓦工業は、そう考えています。

荻野製瓦工業の特長

01. 迅速・丁寧な工事体制
02. 国家資格取得者が在籍
03. 瓦一枚の修繕から駆けつけます

瓦が、笑顔が、安心が集う

WEB サイト <http://ogino-seiga.com>

〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村 1187-2



(有) 荻野製瓦工業

OGINO SEIGA

TEL.0795-74-2336 FAX.0795-74-2449

受付時間…8:30～17:30(日・祝・GW・お盆・年末年始を除く)



ドローン撮影

ドローンでの屋根点検や撮影することもできます。

1級かわらぶき技能士/瓦屋根診断技士
一般建築物石綿含有建材調査者
建設業許可 兵庫県知事(般一3)第752289
産業廃棄物収集運搬業許可 第02808225425号
(一社)全日本瓦工事業連盟加盟店

事業内容

- ・新築屋根工事・屋根葺き替え工事・小規模屋根修繕工事
- ・金属屋根工事・樋工事・太陽光発電システム工事
- ・KMEW ルーガショップ・各種瓦販売・板金工事

建築基準法改正に関して（建築確認対象等の見直し）

理事 株式会社 京都確認検査機構 西田 高明

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、住宅・建築物の省エネ対策を強力に進めるための「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律」（令和4年法律第69号）が令和4年6月17日に公布されました。

今回の改正内容の1つである、建築基準法第6条の「建築確認審査の対象となる建築物の規模等の見直し」について紹介したいと思います。

現在、建築基準法第6条第1項第4号に該当する建築物（以下、「4号建築物」という。）は、都市計画区域外にあっては建築確認の対象外となっています。また、都市計画区域内にあっては、4号建築物で建築士の設計に係るものは審査・検査省略の対象（いわゆる4号特例）となっています。この4号建築物の対象規模が、改正により見直されます（2025年4月施行予定）。

具体的には、下記の図の通りとなります。尚、現行の1号建築物（第6条第1項第1号）は改正後も変更はありません。非木造の区分である3号建築物（法第6条第1項第3号）は内容に変更はありませんが、改正後は2号建築物となります。

改正のポイントを簡単に説明いたします。

❖ ポイント1 ❖

木造と非木造の区別がなくなる

❖ ポイント2 ❖

1～3号建築物の3つに区分される

❖ ポイント3 ❖

2号建築物の範囲が拡大する

❖ ポイント4 ❖

特例対象となるのは新3号建築物

例えば木造2階建て住宅は、新2号建築物となり、都市計画区域内外を問わず建築確認が必要となる上、審査・検査省略の対象から外れるため、建築確認申請等の記載内容及び、設備、構造といった提出図書等が増えることになります。

❖現在（木造）

階数	延べ面積 200㎡以下	延べ面積 200㎡超 500㎡以下	延べ面積 500㎡超
3以上	2号建築物	2号建築物	2号建築物
2	4号建築物	4号建築物	2号建築物
1	4号建築物	4号建築物	2号建築物

- 1号 別表第1(イ)欄に掲げる用途に供する特殊建築物で、その用途に供する部分の床面積の合計が200㎡を超えるもの
- 2号 **木造**の建築物で3以上の階数を有し、又は延べ面積が500㎡、高さが13m若しくは軒の高さが9mを超えるもの
- 3号 **木造以外**の建築物で2以上の階数を有し、又は延べ面積が200㎡を超えるもの
- 4号 前三号に掲げる建築物を除く（以下省略）

❖改正後（構造問わず）

階数	延べ面積 200㎡以下	延べ面積 200㎡超 500㎡以下	延べ面積 500㎡超
3以上	2号建築物	2号建築物	2号建築物
2	新2号建築物	新2号建築物	2号建築物
1	新3号建築物	新2号建築物	2号建築物

- 1号 別表第1(イ)欄に掲げる用途に供する特殊建築物で、その用途に供する部分の床面積の合計が200㎡を超えるもの
- 2号 前号に掲げる建築物を除くほか、2以上の階数を有し、又は延べ面積が200㎡を超えるもの
- 3号 前2号に掲げる建築物を除く（以下省略）

アルコールとの上手な付き合い方

皆様は普段、お酒を飲まれますか？適量の飲酒は生活のうるおいとなるなど良い面もありますが、飲み過ぎると肝臓病や糖尿病、肥満、心臓病など「万病の元」となり、持病の悪化にもつながります。また、アルコールは依存性が高く、アルコール依存症になると治療法は「生涯断酒」となり、一生お酒が飲めなくなってしまいます。これからも健康と両立してお酒と長く付き合い続けるためにも、飲酒のルールを守りましょう。

『節度ある適度な飲酒量』とは...？

1日の適量は、以下のいずれか1つです。

ビール(5%) 	日本酒(15%) 	焼酎(25%) 	ウイスキー(40%) 	ワイン(12%) 	缶チューハイ(7%) 
中瓶1本 (500ml)	1合 (180ml)	0.6合 (110ml)	ダブル1杯 (60ml)	グラス2杯 (200ml)	1本 (350ml)

* 女性や高齢の方、少量の飲酒で顔が赤くなるなどお酒の弱い方は、この基準よりも少なめを適量にしましょう。

～ 健康を守るための飲酒ルール ～

◆ 1日の適量を守り、週に2日は休肝日を！

飲酒はアルコールの代謝を担う肝臓に多大な負担をかけるため、週に2日以上は肝臓を休める必要があります。また、休肝日作りは依存の予防にもつながります。



◆ たまに飲んでも大酒しない

たとえ飲む回数が少なくても一時に大量に飲むと、身体を傷めたり事故の危険を増したり依存を進行させたりします。

◆ 食事と一緒にゆっくりと

空腹時に飲んだり一気に飲んだりすると、アルコールの血中濃度が急速に上がり、悪酔いしたり、場合によっては急性アルコール中毒を引き起こします。また、濃いお酒は薄めて飲むようにしましょう。

◆ 寝酒は控えましょう

就寝前の飲酒は眠りを浅くし、睡眠の質低下につながります。



◆ 服薬治療中、入浴・運動・仕事前の飲酒はやめましょう

アルコールは薬の効果を強めたり弱めたりします。また、飲酒後に入浴や運動をすると、不整脈や血圧の変動を起こすことがあり危険です。さらに、アルコールには運動機能や判断力を低下させる作用もあります。

引き続き基本的な感染症対策も徹底しましょう！

手洗いの実施



マスクの着用



「3つの密」の回避



2023

洛西支部 野間 洋平

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

昨年は円安騒動や物価上昇など景気の良くない話がたくさんありましたが本年は持ち直すことが出来るのか注目ですね。

ところで近年、各業界が人手不足と言われています。原因が少子高齢化なんてよく言われていますが実は円安騒動と給与問題・労働環境が絡んでいるのではないかと私は思っています。

少し時代を遡りましょう。

高度経済成長期の頃は1ドル360円でした。円が安いということは人件費が安い日本に多くの海外企業が生産拠点を作り、工場が乱立し製造業が大いに盛り上がる。つまり職人が増え、技術力が上がり、メイドインジャパンの信頼を獲得していく。

バブル期、円高が進み1ドル80円。円が高いということは海外へ投資をしたり、日本企業が海外拠点を作りやすくなります。そうすると多くの人が製造業から金融や経営、管理職を目指すようになり職人が不足していきます。

バブル崩壊～東日本大震災、この間は円相場は上下を繰り返していました。自由貿易が始まったりして貿易職に人気が高まったのを覚えています。

2011年 円高ユーロ安時代

この頃ぐらいからではないでしょうか。家電製品や家具、調理器具、ファストファッションなどの北欧系製品が日本に来たのは、ITの発展と共に世界の製品が日本に入りグローバル化していく。

2015年～ 訪日外国人の爆買い

中国経済の急成長による中国人観光客の爆買いが話題。

さて、円相場や時代を踏まえ何か気づくことはありませんか。そう、職種は時代の流れに、経済に、為替に影響を受けているということ。隣国中国の為替が安かった2010年に中国に行きました。その頃多くの企業が中国に生産拠点を作り、工場が乱立し、その後公害問題が話題になりました。まるで高度経済成長期の日本をなぞるかのよう。その後の流れも同じようになっています。

一時期日本に多くいた出稼ぎ中国人が消え、今はベトナム人が出稼ぎに来ていますが、最近彼らも自国の方がお金もらえるから帰ると言う。日本の企業は海外の工場を日本に戻す動きを見せている。

日本の職人を切り、人件費の安い海外に製造を任せ、人件費が高くなったから日本に戻す。しかし日本にその職人はどれほど残っているのだろうか。

これから日本は製造業を中心に動き出すのだろうか。その技術はあるのだろうか。先日、現場で大工さんと話をしていると衝撃的な話を聞かされた。『30年大工をしているが20年ぐらいノミを使っていない。うちの弟子は鉋を触ったこともない』と。便利な道具、製造された材料で組み合わせることが多くなった建設業ですがこれで人は育つのだろうか。

私自身現在、学校等で製図を教えているが社会人で学生時代製図経験が皆無という方によく出会う。今はCADベースの授業が多らしい。いずれBIMベースになるのだろうか。施工図を描けない人が増えそうな気も…。そして細かな図面の表現力はなくなるのだろうか。

学生に聞きました。これからの時代、製造業が増えるかもしれないけど現場や工場で働きたいかと。聞けば皆、口を揃えて言う。オフィスが良いと。リモートワークが良いと。いったいなぜなのか。学生が言うには休日が少ない、肉体労働、それに伴う給与が少ない。とのことらしい。そう言われると言いつ返しませぬ。言い返せないということは私自身それが普通と思っていたのかと反省しました。

経済の流れ、為替状況によってその時々で世の中に必要な職種が生まれるが、その職種に見合う労働環境を作らなければならない。そして技術の継承をするための時間・指導をしていかなければならない。出来なければ日本人は海外出稼ぎが人気となるのだろう。

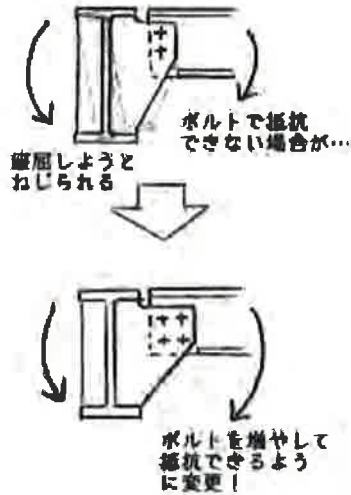
人を育てること。見合った給与・報酬・休暇をしていくこと。これがこれから先、求められるのではないかと思う。

本年の抱負

『一樹百穫、三顧之礼』

本日のオマケ

小梁を横補剛材として有効にするためには納まりが変わることがあるよ！



耐力アップ講座

建物が少し強くなるかも？

横補剛材の巻

(作・田中祐介)

えだまめ

今回お話を伺いましたのは、株式会社 Fujitaka の池谷さんからのご紹介で、京都エレベータ(株) (洛南支部) の金森保則さんです。お忙しくされているところお時間を頂きました。

入会されてから約10年とお話ですが、この間、福利厚生委員会や洛南支部長、また理事として当協会でのご活動は皆さんもよくご存じの金森さんですが、本日は金森さんご自身のお仕事についてお話をお聞かせ頂けますか？

…法定検査からTOPメーカーが苦手とするオーダー仕様の対応までエレベータに関する業務は幅広いのですが、私自身は主に、建築士として新設分野での法的な手続きや確認などを担当させて頂いています。

日々のお仕事では様々な課題に取り組んでおられるのでしょうか。

…はい、安全第一が判断の基準となります。様々な案件の中にはお体の不自由な方からのエレベータ新設の相談もあり、コンプライアンスの点でどうしても新設ができない、ご要望にお応え出来ないとき、そのときはすごく歯がゆさを感じます。

毎日の生活にエレベータは欠かせないものですかね。

金森さんのように様々な業界の中で建築士が活躍されていますが、何故この道に進まれたのですか？

…育った環境も最初に社会に出ましたのも建設業関連であったことが大きいのですが、京都エレベータに入社したのは、創業された岩島さんとのご縁です。16年前になりますが、ちょうど新設分野にも事業を広げようとしていた時期だったと思います。

何より一級建築士の資格を取得していたことが今この会社でお仕事をさせて頂いていることに繋がっています。もとはといえば「将来に向けてしっかり勉強するよ」と厳しくしてくれた父のお蔭だと実感しています。

お父様のお蔭とお感じになっているように、会社にも感謝されていることがお話を聞いていて解ります。

…はい、それは私だけではないと思います。我社は毎年5,6人が入社するのですが、退職者がほとんどいない会社なんです。

とても興味深いです。

…徹底した社員教育、例えば全社員が取得しなければならない「第二種電気工事士」などの専門的な研修から「話し方」、「アンガーマネジメント」まで、若いスタッフからベテランまでが学び、またときに先輩社員がつきっきりで教える側に立ち常に全体のレベルアップを目指している。まさに「みんなで人を育てる」という社風がいいのだと思います。

素晴らしいですね。簡単に転職される若い人達が多いなか、とてもいいお話をお聞き出来ました。同時に金森さんの普段からしみ出ているお人柄が今日の取材でもこちらに伝わってきました。

ありがとうございました。

神戸税関庁舎

京都建築専門学校の学生さんたちと神戸へ行った。これはそのとき描いた神戸税関である。学生たちが口々に「すごい」と言ってくれた。

さて、神戸税関はご覧のように当世流行のセセッション様式である。幾何学的な装飾やパッチワークのような壁面構成に特色がある。いかついところがなく華やかで軽やかな建築に仕上がっている。コーナー入り口のアールデコ風の大庇や玄関ホール床のタイルの模様張りなど見どころが多い。税関関係の資料室があるので中へ入って玄関ホールまわりを見学できる。ただし写真撮影は不可。

あまり知られていないが大熊さんは武田五一が東京帝大の助教時代の教え子に当たる。年令が近いので師匠と弟子というより兄弟分という感じだ。大熊は大蔵省に入って研鑽を積んだ。この税関を設計したころは国会議事堂の設計チームの主力メンバーに選ばれている。だから国会議事堂のセセッション風なデザインは神戸税関と一脈通じる。ちなみに武田も国会議事堂チームに入っていた。ふたりの間柄なら楽しく仕事ができたらう。(円満字洋介、乙訓支部)

※兵庫県神戸市、大蔵省管轄課(大熊喜邦)設計、森田組(森田福市)施工、1927年竣工
ヴァフアル紙粗目F3、グラフィックペン0.3、固形透明水彩、2022.07.09スケッチ



編 集 後 記

○設計者が事業主から求められることは、デザイン力、技術力、法律・条令等の整理・手続き、コンサルタント、またそれらのコーディネートと総合的なものになり、責任も押し付けられやすい。

事業主はその事業に対しての設計者の価値を感じ考え、対価を支払うことになる。

最近、法律・条令等の整理・手続きの作業量が膨大になり、またCADソフトやネット環境の発展も影響してじっくりとプランや納まり等を考える時間が取れなくなっている。(今後BIMが普及するとさらに時間を追求し画一的な仕様の建物が増えないだろうか?)

また施工者も施工図が描けない・描かない人も増えてきているように思う。設計図を施工図と考えている方もいる。また職人の数は減り続けると思われる。

最近では意匠法なるものでハウスメーカーや大手設計事務所、大手ゼネコン等が意匠的な特許をどんどん申請しているようだ。人が行き着くアイデアにそれほど大きな差は出ないように思う。考え抜いたプランがどこかの特許を侵害して金銭を要求される事も今後起こりうるだろう。

個人事務所は10年後、20年後の未来をどのように描けるだろうか?

(堀井 里見)

○発行 令和5年1月1日
○発行所 一般社団法人 京都府建築士事務所協会
〒603-8163



京都市北区小山南大野町1番地 紫明会館1階
TEL 075-334-5277 FAX 075-334-5377
<https://www.kyoto-kenchiku.com/>



○編集人 編集長 堀井里見
編集委員 木村 智、岩村和男、橋本勇樹、
石井克憲、酒井 徹、田中祐介、
風月貴広、小峠圭三
○印刷所 株式会社ティ・プラス